

足腰の強い経営確立へ

リンゴを取り巻く情勢は、本格化する輸入攻勢、国内産地間競争の増大と消費量の停滞、リンゴ需要の不均衡など、一段と厳しさを増しています。

さらに、高齢化の進展や労働力不足等、地域内の事情による影響が大きく、ますます産地間の格差が拡大されてきています。

今後、リンゴづくりに明るい展望を持って取り組むためには、地域に合った品種の適正配置と早期更新、人工授粉の実施と適正着果による大玉生産、省力化栽培技術体系の導入による適期作業の励行、低樹高による受光改善と作業の効率化、良質有機質施用による地力維持・増進などを実践して、産地力の底上げと低コスト生産に努め、足腰の強い経営を確立することが重要です。